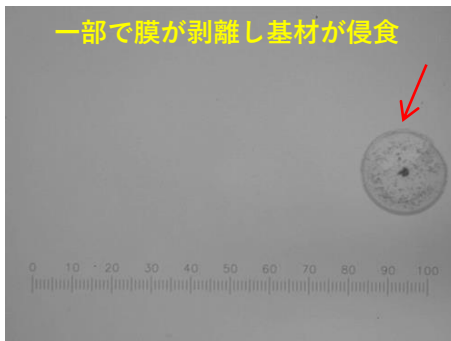
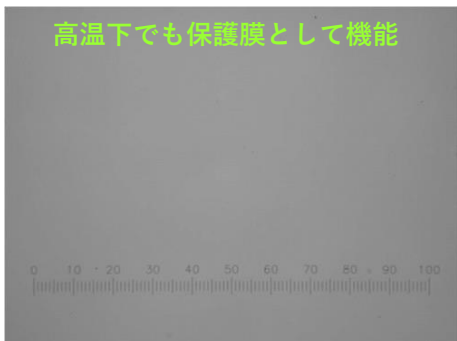


Y_aコート

400°C以上の高温腐食性ガス下で使える
複合セラミックス膜

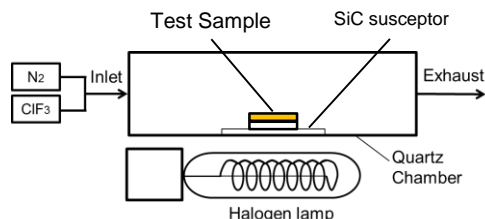
腐食ガス高温曝露テスト (ClF₃:三フッ化塩素)



Y_aコート

CVD-Y₂O₃コート

CVD-Al₂O₃コート



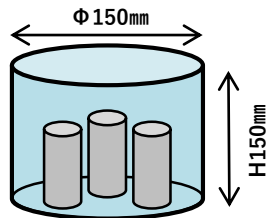
試験条件
 加熱温度：600°C
 ガス流量：100% ClF₃ 50sccm
 曝露時間：10min
 ※試験条件での比較事例
 石英ガラス：> 35μmエッチング
 Si：反応熱により赤熱する（1400～1800°C）

比較表

膜種	膜質			特性	
	結晶性	透明性	クラック	高温耐食性	結晶化温度
Y _a コート	アモルファス	透明	入りにくい	◎	≧900°C
Y ₂ O ₃	多結晶	透明	入り易い	△	—
Al ₂ O ₃	アモルファス	透明	入りにくい	×	>400°C

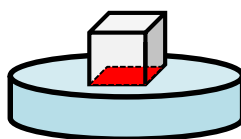
Y_aコート施工条件

処理温度 : 500°C
 処理サイズ : Φ150mm × H150mmの範囲内
 材質 : 石英、セラミックス、金属

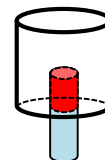


標準設置方法

■色の設置面や差込箇所には成膜されず
 境界面に若干膜が薄い箇所が発生する場合があります



回転テーブルに置く場合



ロッドやワイヤで立てたり吊るす場合

資料中の各種データはテストピースの測定による参考値であり、保証値ではありません